

協会だより

第37号

平成30年10月5日発行

福岡県立学校事務職員協会

会長の挨拶

「御挨拶」

福岡県立学校事務職員協会 会長 武田 美余

新学期を迎え、会員の皆様におかれましては学校行事や監査調書の準備等御多忙な日々を過ごされていることと存じます。また、本協会の運営に対しまして、日頃から御支援、御協力をいただき厚く御礼申し上げます。

今年度の上半期を振り返ってみますと、集中豪雨や猛暑、台風、地震等の自然災害が非常に多かったことが印象に残っています。5月に開催した事務職員協会研究発表会並びに総会で、朝倉市の元防災交通課の方に昨年の朝倉地方の豪雨災害の状況についての特別講演をしていただきましたが、私達の想像を超える大変なご苦労があったことを知らされました。実際に災害現場で救助や復旧活動に携わる方々には、本当に頭の下がる思いです。また今年も梅雨明けの時期に広範囲に渡って、豪雨災害が起こってしまいましたが、自然の猛威には為すすべもなく、勧告に従って早めに避難するしか対応策がないようです。被災された方々には、心よりお見舞い申し上げます。

6月には佐賀県鳥栖市で、九州大会が開催されました。今年は福岡県の発表はありませんでしたが、昨年に引き続き、事務の効率化をテーマにした発表がありました。

他県では「採用一元化」が進んでおり、学校以外の所属から転入して来ることが一般的であるため、学校事務初任者に対して「事務引継書」や「マニュアル」を作成し、無駄な時間を省き、事務処理の効率化を目指した実務に役立つ研究が主流になっています。その他、職場のメンタルヘルスや災害時への対応をテーマにした発表が行われました。

事務職員協会の活動にも、この「採用一元化」が影響しているようで、全国的に協会の活動を休止している県が年々増えており、大きな問題となっています。福岡県の場合、「教育行政」という採用区分があり、学校間の異動が多いため影響はほとんどありませんが、九州の中でもそろそろ休会する県が出そうな気配です。

7月に山口県山口市で開催された全国大会では、最高気温が38℃を超える中、1日目は記念講演、2日目は3つの分科会に分かれ、それぞれのテーマで研究発表及び基調講演、パネルディスカッションが行われました。

山口県では、県立高校にコミュニティ・スクール制度を採り入れ、2020年度までには全部の高校に導入する方針で、地域と密着した学校づくりへの取り組みについて報告がありました。

第3分科会では、「ワールドカフェ方式」を取り入れ、学校教育法の改正により、事務職員の職務規定が「事務に従事する」から「事務をつかさどる」へと改められたのを踏まえ、学校経営に参画する事務職員の魅力発見・追及をするための「問い」に対し、参加者は自由には発言しながら、お互いの思い

や背景について相互理解を深めるという試みがありました。

因みに、来年度は第4分科会を設け、大量退職時代を迎え、新規採用者が増えていることや中堅職員の不足により生じている様々な問題について若手職員に大いに語り合ってもらおうそうです。

最後になりますが、本協会は、学校事務職員としての資質の向上や若手職員の人材育成に取り組んでいます。また、各種委員会、各地区研究委員会も事務の効率化・改善を目指して日々研鑽を積んでいます。今後とも協会の活動に御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、会員の皆様の益々の御健勝、御活躍を祈念いたします。

各 研 究 大 会 等

- ◎ 福岡県立学校事務職員協会研究発表会並びに総会
開催日 平成30年5月25日(金)
会 場 福岡リーセントホテル



【研究発表会】

1 研究発表

「施設管理と災害対応について」

事務室の視点に立った「危機管理マニュアル」の作成に向けて
福岡地区事務研究委員会

発表者 宇美商業高等学校 参事補佐兼事務次長 小野 尊章
糸島高等学校 事務次長 吉野 佐智恵

2 特別講演

演題 「平成29年7月九州北部豪雨について」

講師 朝倉市水資源政策課 草場 千里 氏



3 研究部活動報告

4 地区事務研究委員会活動報告

【総会】

3名の来賓をお迎えし開催されました。福岡県教育庁教育総務部総務企画課日高課長からご祝辞を頂きました。

平成30年度新役員、評議員、選挙管理委員の紹介を武田会長から行われ、その後、新規採用者の自己紹介が行われました。

議案については、提案どおり決議されました。

【その他】

昨年度の九州大会における「ワークライフバランス~意識を変える~」について発表された筑豊地区事務研究委員会の5名の方、及び旧役員1名の方にご出席いただき、感謝状と記念品が贈呈されました。お疲れ様でした。

来年度は、2019年5月31日（金）開催予定です。



◎第66回九州協議会研究大会並びに総会

開催日 平成30年6月20日（水）～22日（金）

会場 鳥栖市民文化会館

九州・沖縄各県から289名（内福岡県46名）の参加がありました。

本県からの研究発表はありませんでしたが、事務引継、事務支援、ストレス、学校減災と内容が多岐に渡り濃い内容でした。特に、鹿児島県の「学校減災を考える」では、水害や地震等の災害は防げない。しかし、「減災」に取り組むことは可能である。どれだけ被害を小さくできるかが重要。という言葉が心に残りました。



また、特別講演では、かしまんにわか一座の代表 いなばゆうこ氏により「佐賀にわかとの出会いに感謝」という題で人生の転機になったことに触れながらの講演でした。また、佐賀にわか実演では、事務室の一日を切り取った劇の上演があり、笑ってしまう場面が何度もありました。

功労者表彰では、本県から11名の方々が表彰されました。総会では、会務報告・決算・事業計画案・予算案について審議がなされました。

来年度は、2019年6月12日（水）～6月14日（金）宮崎県宮崎市で開催されます。



- ◎第71回全国公立高等学校事務職員研究大会 総会
開催日 平成30年7月25日(水)～27日(金)
会場 山口市民会館

全国から717名の参加があり、本県からは45名の参加がありました。本県からの研究発表はありませんでした。

1日目は、文部科学省講話「今後の教育改革の動向について」、大阪大学大学院人間科学研究科小野田教授による記念講演「学校と近隣住民とのトラブル～部活動の苦情を生徒が解決する～」、総会が行われ終了。小野田教授の講演は、学校に勤務する者なら誰もが「あるある!」と思う身近な内容に加え、目にも鮮やかな教授の御衣装や思わず身を乗り出して聞き入ってしまう話術等々、とても濃い80分間でした。



2日目は「学校組織マネジメント」「業務の改善と効率化」「今日的課題への提言」をテーマとする3つの分科会が開催され、各々午前中は研究発表、午後からは基調講演とそれに続くシンポジウム、グループ討議が行われ充実した研究大会となりました。

功労者表彰では、本県からは10名が表彰されました。

来年度は、2019年7月24日(水)～7月26日(金)兵庫県姫路市で開催されます。

